

3 学期終業式 式辞

みなさんおはようございます。寒さも和らぎ風光る季節を感じさせます。令和7年度へにあたり少し時間をいただきます。まず、本年度みなさんにお伝えしたメッセージを振り返ります。人としての在りよう、人は成長し続ける、様々な出会いに学び、セレンディピティを追究する、強い学校・組織の条件、地球温暖化やカナダで開催されたG7サミットで首脳宣言が見送られる等、混沌とする世界の状況、人口減少等、我が国の課題、多文化共生社会、Well・beingの浸透にて飛躍する本校の現状、VUCA（ブーカ）な時代、エージェンシーを高める有効な学び方の一つに本校が追究する探究学習がある。「One voice」広島での平和への誓い等についてです。みなさん、心静かに振り返り更なる成長に繋げて下さい。

私の立場で本年度を振り返りますと、みなさんが、それぞれの夢や目標、可能性を追究し、誠実に取り組む姿、それを粘り強く支える先生方の様子が美しく記憶に残ります。課題はゼロではありませんが総じて実り多い2025年度でした。保護者のみなさまや地域住民の方々、学識経験者のみなさんで構成されている学校運営協議会の委員の皆様からも高い評価をいただいています。

さて、去る2月27日、卒業式が挙行されました。校歌等、50期生のみなさんの力強い歌声が前途洋々たる未来を照らし、大変印象深い式典でした。

みなさん、世の中はエージェントAIやデジタルトランスフォーメーションが急速に進展しています。特にAIとの共存はこれからの社会の大きなテーマです。そこで、今、最も大切なことはその中心には人がいるということをお忘れではありません。AIの卓越した能力に無批判に依存するのではなく、本校で体現しているwell・beingを軸に人間力を高め、AIとの協働を通じて新たな可能性を切り開いていただくことを期待いたします。50期生の皆さんの門出にあたりお伝えしたメッセージの一つを本年度へにあたり皆さんにもお伝えします。

生きる構えとして「利他の心」を持つことです。自分も他人もともに豊かになるという考え方です。自分自身の思いのままに動くのではなく、他者のために動き、他者の幸せを願う人が本当に自立した主体的な人であり、そうなることが人としての真の成熟です。みなさん何事も誠実にひた向きに取り組む共に「利他の心」を育みましょう。

さて、まもなく新年度が始まります。志を立て自己実現に向け計画的に新たな歩みを始めて下さい。同時に、新入生が入学します。思いやりを行動に移し、上級生として暖かく迎えて下さい。

終わりになりますが、新年度が本校関係者すべてのみなさんにとって幸多い年となることを祈念して式辞とします。